

集合管機種指定の方法

下記①～③をそれぞれ選定し、「－（ハイフン）」で繋いで表記します。

① 集合管の型式

本カタログおよび技術マニュアルに記載の内容より、集合管の型式を選定します。
なお、各集合管の型式の最初の数字は、立て管径を表しています。

3 = 立て管径75
4 = 立て管径100
5 = 立て管径125

②-1 枝管のタイプとサイズ

各集合管のバリエーションより、枝管のタイプと各枝管のサイズを選定します。
枝管は、集合管の上方から見て、時計の0時の位置を基準に時計回りに表記します。

<枝管タイプ>



<枝管サイズ>

1	通常枝50	6	Z枝75	0(ゼロ)	枝管なし	R1	エルボ枝50右回り
2	通常枝65	7	U枝75	L1	エルボ枝50左回り	R2	エルボ枝65右回り
3	通常枝75	8	Z枝100 (注:4SVT専用。通気管用)	L2	エルボ枝65左回り	R3	エルボ枝75右回り
4	通常枝100			L3	エルボ枝75左回り	P	掃除口(φ74)

- ・1枝の場合は枝を0時に、2枝の場合は0時と3時、または0時と6時に、3枝の場合は0時と3時と6時の位置に配置します。3枝＋掃除口の場合、9時の位置を掃除口とします。
- ・180度2方向の場合、0時に配置する優先順位は、左回りのエルボ枝(L)、通常枝(サイズ小さい順)、Z枝、U枝、掃除口、右回りのエルボ枝(R)、の順となります。
- ・枝管なしの場合、「4SL-0-W」のように表記します。掃除口がある場合、枝管タイプの前に「-CO」を入れます。掃除口のみの場合、「4SL-CO-P-W」のように表記します。
- ・Z枝の場合、「4SL-Z6-P110」のように、枝管タイプの後にP寸法(「-P110」または「-P140」)を入れます。(指定の無い場合はP140。3SVと4SVTはP寸法指定不要)
- ・1枝＋掃除口の場合は枝タイプの後を3桁(「A3P」でなく「A3P0」など)、90度2枝＋掃除口の場合は枝タイプの後を4桁(「C23P」でなく「C23P0」など)として表記します。
- ・特別な例外として、90度2方向で右回りのエルボ枝(R)がある場合、枝を3時と6時に位置するよう配置し、0時の枝なし(O)から表記します。(例:4SL-JOR23-S)
- ・特別な例外として、90度2方向で時計回りに掃除口→枝の順の場合、掃除口を3時、枝を6時に配置し、0時の枝なし(O)から表記します。(例:4SL-CO-AOP3-W)

②-2 2段枝モデルの下部枝管のタイプとサイズ

2段枝モデルの集合管の場合、下部枝管のタイプとサイズを選定します。
下部枝管の読み始めの位置は、上部枝管の0時の位置と揃え、枝タイプの後を4桁で表記します(例:「A1000」)。
なお、下部枝管なしの場合、「0(ゼロ)」と表記します。

②-3 2段枝モデルのP寸法

2段枝モデルの集合管の、上部枝管の管芯から下部枝管の管底までの距離(P寸法)を指定します。(次ページ参照)

- * 4SF形集合管では、枝管の有無にかかわらずP寸法の指定が必要です。
- * P寸法の対応範囲については、P29-30をご参照ください。
- * 上部枝管が複数ある場合、P寸法が最も大きくなる上部枝管を基準としてください。

③ 下部スタイル

集合管の下部スタイルを指定します。

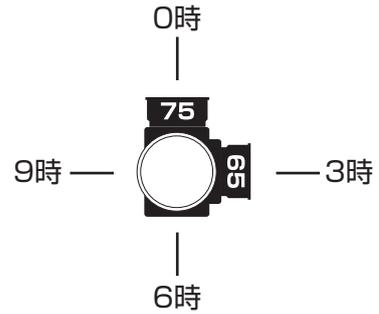


足伸ばしが必要な場合、「-S」「-W」「-WKP」の後に、「+100」のように足伸ばしの寸法を指定します。(足切りは「[-50mm]」のように表記)

(集合管機種指定の例)

4SL - C32 - W

- ① 集合管は4SL形(立て管径100)
- ② 枝管は90度2枝(Cタイプ)
集合管の上方から見て、0時の位置に通常枝75(3)、3時の位置に通常枝65(2)
- ③ 集合管の下部は両受けスタイル(W)



4SLII - A3 - A0200 - P320 - S

- ① 集合管は4SLII形(立て管径100)
- ②-1 上部枝管は1枝(Aタイプ)。上から見て、0時の位置に通常枝75(3)
- ②-2 下部枝管は1枝(Aタイプ) 上部枝管と0時の位置を揃えると、3時の位置に通常枝65(2)があるので、0時の位置から読み始めて「A0200」と表記
- ②-3 上部枝管芯と下部枝管底の距離(P寸法)は320mm
- ③ 集合管の下部は片受けスタイル(S)

